

令和元年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,834,379円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		R01下半期	R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,204	10,978	9,773	12,437	9,772
	移動児童館利用者数	439	584	486	521	967
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	13	※17(14)	※14(12)	※14(12)	12
	開館日数(単位:日)	126	155	151	151	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤計画どおり実施。 ②常勤(児童厚生員2人、保育士1人、体育指導員1人) ③HP、地域のかわらばん(わっちとおまはん)に行事掲載管轄小学校(6校)児童全員におたより配布、地区の会合など出席したとき、西部コミュニティセンター、西部ふれあい保健センターに配布等、PRの実施。 ④研修の実施 苦情件数0件
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①④適正に実施。 ②週2回の外部委託による清掃、職員による掃除及び整理整頓を毎日実施。 ③未使用の部屋は電気、エアコン等スイッチをきり節電に努めた。館内及び敷地内にゴミ箱を撤去(ごみの持ち帰り協力依頼)、ペットボトル及び牛乳パックなど有効活用。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは随時、指定管理者(本部)及び岐阜市に報告し、実施。 ②建物等大規模修繕は、指定管理者(本部)を通して、岐阜市へ要望提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①②③マニュアルに沿って適切に実施。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	未実施 ・3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策による休館のため実施できなかった。
利用者アンケートの 実施結果	未実施のため、記載なし。
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	アンケート未実施のため意見なし。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A	
		区分評価				A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		区分評価				A	
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A
⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A	
区分評価				A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A	
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A	
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A	
		区分評価				A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A	
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A	
		区分評価				A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ HP、地域のかわらばんに行事予定を掲載、毎月行事予定表を小学校6校の全児童に配布、また、地区の会合など出席したとき、西部コミュニティセンター、西部ふれあい保健センターに配布などPRに努めた。 □ 下半期、アンケートは実施できないものの、普段利用者とのコミュニケーションから検討し、HPリニューアルや事業の改善やおもちゃ購入等を行った。 □ 移動児童館を増やすために、来館した人や公民館など、行ったところでPRを行うよう努めた。(26回) □ 黒野西郷子育てネットワーク協議会の事務局として、子育て支援カレンダーを毎月作成し、関係団体に配布し、連携を強化した。 □ 黒野・西郷地区の子育て支援ネットワーク協議会(2地区の保育所、幼稚園、青少年育成市民会議、民生委員児童委員、ふれあい保健センターで構成)に参加し、地域の子育て支援について連携を図った。 □ 昼食(タイム(もぐもぐタイム))を火～金に実施し、1日当たり3、4組が利用。 □ 来館した子育て中の外国人親子に積極的にPRを行った。(親子教室3組参加)
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 熱中症やインフルエンザ、新型コロナウイルスの情報を中国語で掲示した。(厚生労働省引用) □ 地域や小学校の会議などに参加して、情報を共有しながら、地域の子どもを支援した。(黒野小学校運営委員会、黒野青少年育成市民会議及び黒野・西郷子育て支援ネットワーク協議会にそれぞれ参加し、地域の課題や子どもの情報を得た。) □ 昼食タイムについて、火～金に実施した。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 外国人が子育てなど相談しやすい環境づくりに努める。 □ 利用者増のため、イベントや事業の見直し、改善に努める。 □ 父親や祖父母が参加しやすい事業の開催を検討する。 □ 職員の資質向上のため、積極的に研修会に参加するよう努める。 □ 児童の利用者数を増やすよう行事等見直しを図る。

●所管課の意見

<p>○毎月の行事予定を担当6小学校全児童や青少年育成市民会議会長に配布するほか、ホームページや地域広報誌(わっちとおまはん)に行事予定を掲載し、黒野西郷子育て支援ネットワーク協議会団体へ各施設の行事カレンダーを配布するなど、地域に対して広く児童館の情報提供を行った。</p> <p>○運動系の行事やイベントを増やし、利用促進に努めた。</p> <p>○移動児童館について、年間30回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を達成されている。</p> <p>○児童館で昼食をとる「もぐもぐタイム」を引き続き実施するとともに、幼児向け事業として月に1回「みんなで遊ぼう」を実施するなど、保護者のニーズに合わせた行事を企画した。</p> <p>○他の公共施設において事故等の事例がある中、安全安心な施設運営に努め事故等がなかったことは評価したい。</p> <p>○職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>地域の子どもを支援する会合にも定期的に出席し、関係機関と連携していることを評価する。今後も継続してほしい。</p> <p>移動児童館を年間目標数値以上行ったことを評価する。</p> <p>これまで同様、外国人の方へも丁寧に対応していると認められる。今後も利用者に寄り添った支援を期待する。</p> <p>広報については、今後も工夫を求めたい。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、行動指針やマニュアルに従いつつ、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的」とする児童館として利用者の安心・安全を考慮した運営を願いたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--